

花には太陽を子どもには平和を

すくぼんじょ

第265回発行

R8.7.10.広報委員会

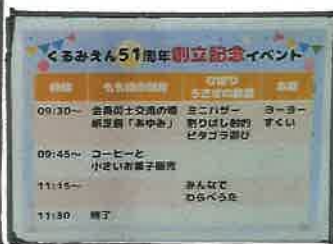
小金原保育の会 幼児教室

くるみえん
since 1975
小金原保育の会 幼児教室

「すくぼんじょ」は、くるみえんのホームページ内の「会員ページ」にて、カラーでご覧になれます。PW. "hoikunokai" です

6月15日はくるみえんの

おたんじょうび



コーヒーを飲むスペースでは、昨年の50周年式典の様子を録画したDVDを上映

バザー委員によるミニバザーのコーナー
夏物衣料品以外にも
アイデア満載の新作も
出現!!



庭では男の子たちが
集まって何やら
ガリガリ...



正体は、この人でした。
くるみえんのおたんじょうびを
祝いに来たの？



みんな大好きおむつ
コーナー
割引おまかせで!!



大型積み木、ダンボール
カッセルのキャセリで....
ピタゴラ遊びのコーナー

くるみえん 説明会

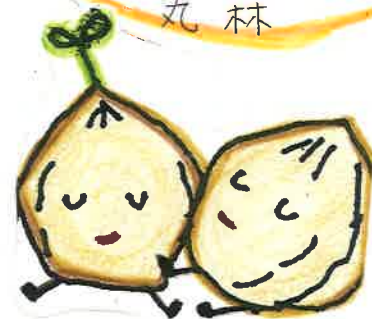
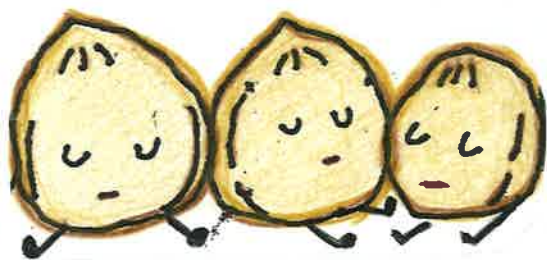


5月14日、くるみえん説明会が行われました。

各委員会やサークルの紹介、自主運営に対する想いなど、くるみえんについてを知る笑顔あふれる時間でした。
根本先生、斎藤先生、武中さん、山岡さんと一緒に共有する事ができ、「くるみえんの一員」として「自主運営って何するの?」
母同士、良いコミュニケーションの場となりました。「私には何が出来るかな?」不安や疑問だらけでしたが「だんだんわかっていけばいい」という言葉にホッとしました。とても楽しく、あっという間の時間でした。ありがとうございました。 田原

くるみえんの仕組みは難しくて最初はちんぷんかんぷん。去年から委員会に参加し、今年はすんなり内容が入ってきました。子どもをまんまかに、自分も楽しめるペースでくるみえん生活を送れます。これまでに創り上げて支えてくださっている方々のおかげだと感じました!♡ ライ♡

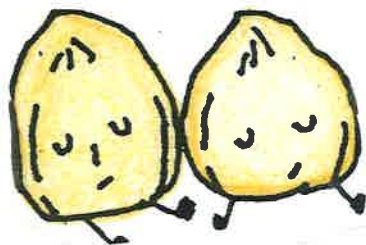
「初めてのか、くるみえん説明会はみなさんイキイキとして楽しんでいる!という印象でした。普通の幼稚園は「先生にお仕えする」感覚ですがくるみえんは、みんなで子育て・育ち合う」という気持ちにさせてくれる素敵な場所だと思いました!! 丸林



もも組の時は離れられず一緒に姉の参観をしていたので、次女の参観を初めてでき成長を感じました。朝の集まりでは言いたい事や見せたいものがある子の話をみんながよくきいていて、見るのも順番を待っていて、素敵だなとほっこりしました。自由あそびの中でたくさんの自然やいきものに囲まれてそれぞれのやりたいことを思い切り楽しむ姿を見て、やっぱりくるみ園は宝物の場所だな、この時間は娘にとって生涯かけがえのないものになっているなと改めて思いました。娘が大好きなわらべうたも楽しそうにやっていて見て嬉しかったです。

ひばり組 三浦

毎日こんなにいろいろな経験をしているのか、と感心しました。特に自由遊びでは、次々と遊びが変わっていく、展開していく様子や人間ドラマを見ることかでき、こうやって日々学び成長している、ということがわかりました。 うさぎ組 若林



うさぎぐみに息子がいるのにも関わらず、一七〇目もくもぐももぐみの様子を覗き見ておりました。小麦などを延々と小さな手でこねまわす姿が可愛い...ずーっとうさぎぐみに何を作ってるのか覗きこんでいたり、触らせてくれたり...系統始まっていたかと思いきや1人急に立ち上がり歩きたずと盛大に車えんが全力の大笑き...あんなに人間らしいんだ...本来あるべき人間の姿がくるみえんにはたくさん詰まってる。

ひばり組 高味

保

育

参

観

わらべうた・体操製作の3日間の中から1つに参加!! お友達と仲良く遊ぶお当番はどんな風にしているのかな? 色々と想像しながら参観したいのでは? 母たちから感想をいただきました!!





保育の見直し



なぜ今、保育を見直すの？ 斎藤先生に聞きました

今日は気持ちのいい天気だから お散歩に行こう。「バツとたくさんつかまえに行こう。」そんな風に生活環境に結びついた保育をしているくるみえん。総会でもお話ししましたが、ここ数年の猛暑で、春と秋に思うように出かけることが難しくなりました。今通っている子どもたちには何を経験させていか、一年の保育を見直してみたい。中でも大きく変えることは、お店やさんごとの取り組みを9月にすることです。時期を変えることで、気がかりなことは目的の一つ、「異年齢のかかわり」に、時間と経験が違いつかないのでは、ということでした。たまたまですが、在室児が少ないので、異年齢の交流は今まで以上にやりやすい状況です。今年度は始めから、自然なかわりがと多く、無理のない

交流をしています。スムーズな流れに期待がもてます。他には特別な一日を11月にすること、クッキングの材料を子どもたちが地域の専門店で買いに行くことがあり。この一年の計画がどうだったか、年度末に検証して、次に生かしていきたいと考えています。保育は社会とつながっています。子どもたちがどのような社会の中で育っているのか、将来「その人らしく幸せに生きて」いかれるように、幼児期に体験してしまいいいことはいくつか、くるみえんは50年、保育を柔軟に対応してきました。変わった保育理念のもと、子どもたちにとって、よりよい保育を考えなくては、お父さんお母さん方と大切な幼児期に入て、これが先たくさん話し合っていきたいと思います。

くるみえんの保育をふり返る

その時々状況に応じて、柔軟に変化してきた「くるみえんの保育」
どんな時代においても変わらないくるみえんの保育への思いは、設立当初から現在まで引き継がれています。ここでは、くるみえんを卒業したOBお二人の思いをご紹介します。

平成元年度 第十三回卒
川鍋 真吾 さん

(30周年記念誌より、抜粋)

幼 見教室に通っていた頃の自分を思い出してみると、毎日が楽しくて、おもいっきり遊んだ事を覚えている。僕の学年は、六人しかいない少人数だったが、個性的なヤツらが集まり、少人数というのを感じさせないくらい賑やかだった。人数が少ないからこそ何をやるにも一緒だったし、友情の厚さも子どもながらに厚かった気がする。そんなヤツらと遊ぶのは楽しくて、特に紙でつくった剣でチャンバラごっこをするのがホントに楽しかった。あと僕は本を読んでもらうのが好きで、たくさん本を読んでもらった。その中でも『地獄犬のそうべえ』という本は何度読んでも、たかかわからないくらい好きだった。見る物すべてに興味のあった僕にとってあの時、母親や先生に読んでもらった本は、その興味や想像力をさらにかきたててくれた。本当に感謝している。

僕はこれから社会に出るが、幼児教室で感じさせてくれた「人間らしさ」を忘れずに自分に思いこみ生きていきたいと思う。

平成十二年度 第二十四回卒
須賀 亮平さん(ひばり組・父)

保 育の振り返りとの事で、思い出してみましたが、保育をされている感覚がありませんでした。それは子どもたちが、主体性をもって毎日を過ごしていたからだと思えます。先生と一緒に遊んでくれる人、困った時に助けてくれる人という感覚だったと思えます。毎日どうやって遊ぶか自分で考え、友だちと話し合い、ぶつかり合い、過ごした自由遊びの思い出は、よく覚えています。園舎から一歩出て廊下に立った瞬間、そこは、外の世界で色々な遊びがどんどん湧いてくる。例えば、お山では探検、迷路、秘密基地、滑り台等...遊びごとに違う景色が見えていました。ケンカをして、つい手が出て友だちを泣かせてしまった日もよく覚えています。一緒に遊ぼうと思っていたのに、悲しく痛い思いをさせてごめんねとじから思った。暴力は何も解決しない、悲い事だと学んだ日でした。(実はそれも保育だと親になってわかりました。) 時代に伴う変化はあれど、昔から変わらないくるみえんの保育が、幼児期のかけがえのない成長になる事を願っています。



うさぎ組さんのカレーおいしくなあれ♡♡

一年長さんのはじめてのおつかい&カレー作りに密着



お買い物の『ねらい』とは?

今年度より始まった保育の見直しは、日々の生活だけでなく、日常体験を通して「食」への理解を深める為の先生方の熱い想いが込められています♡



♡先生が抱えた3つの想い♡



食の循環

くらみえんにあるコンポストを利用して、お糞尿で育てた生ゴミを堆肥に変え、次の野菜作りの為の土へと還す。



最初から最後まで

自分たちで育てたものを育て足りないものを買い、作り、食べる食材がカレーになるまでのストーリーを全部自分の手で!!



ワクワクの食育

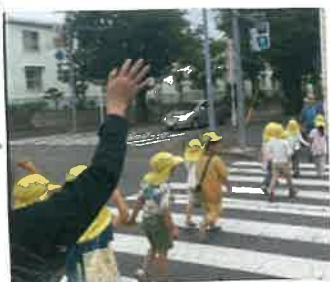
お店で実際にやり取りする「ドキドキ」を自分で買い物を体験し、地域のお店と繋がりを感じさせる。

ドキドキ!! はじめてのおつかい

いざ出発!!



お肉屋さん・八百屋さんに到着して手ぶらで出発です♡



道中は車見がいっぱいで、みんな緊張の表情。

八百屋さん



にんじん・きゅうり・キャベツ・じゃがいもなど、3種類の玉ねぎを各1個ずつ、お肉屋さんへ。



先生から「お肉はどれかな? クイズ」に挑戦!! 「これだー!!」と大盛り上がり。お肉の人から「カレー作りの? と聞かれ、うさぎ組さんが作る」と言われ、さっそくカレー作りが始まる。



重い荷物でも、みんな協力して持ち帰りました♡



くらみえん到着!!

買った野菜をくらみえんに持ち帰り、お糞尿をまいて育てています。明日はカレー作りです♡

いよいよクッキングです♡



①お米とぎ・量り

「お米はどれかな?」とクイズを出され、みんな真剣に考えています。

②野菜洗い

たくさんのお野菜を丁寧に洗っています。



③お肉と玉ねぎの炒め

「お肉はどれかな?」とクイズを出され、みんな真剣に考えています。

釜で調理

うさぎ組さんのカレー完成!!



1人ずつ大きなお玉で野菜炒め「おいしい」と感動。釜で調理を体験し、煮込んでいる間に、釜の音で洗濯機作りにおどかす。



いただきます。おいしい♡

くらみえん OBさんの おすすめレシピコーナー Vo.1

鶏むね肉とトマトの南蛮漬け

お肉にしっかりとやわらかく、トマトの酸味がさわやかな、暑い日にもぴったりの一品です! 「南蛮漬け」だけど、むずかしいことなしの「なんちゃって」レシピ。お子さんと一緒に作るのもおすすめです!

冷やして食べてもそのままでもおいしい♡

材料 (4人分)

- 鶏むね肉 1枚 (約200g)
- 油 大さじ1
- 片栗粉 大さじ1
- 玉ねぎ 1/4コ (縦切りに薄切)
- トマト 1コ (12等分くらい)
- ぽん酢 大さじ3
- 大葉 4枚 (千切り)
- 酒 適量
- 塩 少々

作り方

- 鶏むね肉をそぎ切りにし、Aをもみこみ10分おく。
- フライパンに油を入れ中火。片栗粉をまぶした鶏むね肉を両面2〜3分ずつ焼く。
- 火をとめて、玉ねぎ・トマトを加えてひと混ぜし、ぽん酢を加えて煮る。
- 器にもり、大葉をのせて完成!! 軽くまぜて召しあがれ♪

編集後記

あーという間に一学期も終わり夏休みに入ろうとしています! 暑い夏、皆様、どうですか? 海・山・プール・キャンプ等、楽しい事もいっぱい♡ 冷たくて美味しい食べ物も沢山ありますね! 皆様、2学期また元気に会いましょう!!